

すずらん切り花の秋出し栽培法について

1 試験のねらい

すずらんは、これまでに1月以降の出荷技術しか確立されていないが、昭和55年に当场が実施した一般切り花の市場需要意向調査の中に、できれば秋の結婚シーズンに出荷して欲しい旨の希望意見があり、一方、地域振興作目として特徴ある生産物の開発が望まれていることなどから、それらの一候補となればと思い、秋出し法について検討した。なお、すずらんは、根株の養成は粗放な管理で済むが、促成の際は、花芽分化している芽球を根株から分離する労力のために高価な芽球となったが、これを分離せず、マット状根株のまま冷蔵、促成する省力的手法についても併せて検討した。

2 試験方法及び結果

(1) 冷蔵抑制試験(昭57年)

冷蔵抑制の可能性を検討するため、2月25日に掘りあげ、花芽を持った芽球を分離してポリ袋に密封して冷蔵した。温度は、冷蔵設備の関係で $3^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ であった。9月10日から10月2日まで約1週毎に出庫、定植して開花させた。いずれも5~7日後に開花したが、冷蔵中に芽が10cm程度に伸長して消耗が多く、草丈は20cm前後と十分な品質にはならなかった。しかし、 $-1 \sim 3^{\circ}\text{C}$ 程度の水温冷蔵ができれば、十分に可能であることが推察された。

(2) 促成栽培試験(昭58~60年)

ア 花芽分化(58年)5月21日頃から開始となる個体がみられ、7月9日には殆どの個体が雌ずい形成期に達しているの、6月下旬~7月上旬に完了するようである(第1図)。

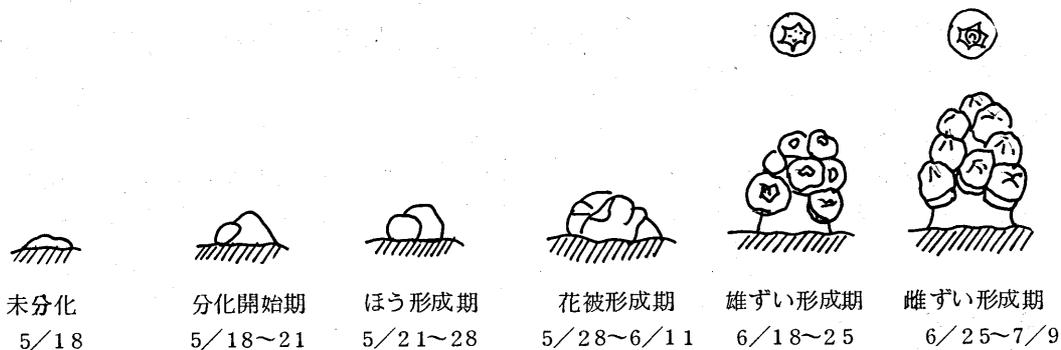
イ 冷蔵温度(58年)8月9日及び29日に掘りあげ、花芽球を分離して 0°C 及び 5°C 7週冷蔵で検討した結果、 0°C が明らかに安定した冷蔵効果をもたらした。

ウ 冷蔵期間(59年)9月11日及び10月1日から、分離した花芽球で6,7,8週間の冷蔵を試みたところ、6週より7週がよく、7週と8週では効果に差がなかった。

エ 冷蔵開始時期(60年)45cm×30cmの底なしわくに露地養成した根株を、根の厚さ約10cmのマット状に掘りあげて葉を取り、7月25日、8月5、15、25日及び9月5日から 0°C に約8週間冷蔵し、出庫後無加温室で通常の方法により促成した。開花率、品質は8月25日以降の冷蔵開始で安定し、8月15日ではやや不安定、それ以前からでは無理であった。冷蔵前の葉の状態が2~3枚芽に対する開花率は、8月25日以降では70%弱に安定した(第1、2表)。

3 成果の要約

すずらんを9~11月に出荷するためには、2月末までに掘りあげて $-1 \sim -3^{\circ}\text{C}$ に冷蔵抑制(設備の関係で推定)するか、11月末からの出荷では、8月25日以降に掘りあげ、 0°C 7週間の冷蔵後4~5週間の促成で出荷可能である。根株は芽を分離せずマット状のまま処理、促成することが省力的であり、予め畦はん板等を埋め込んで養成するとよい。なお、促成面積1㎡に換算した冷蔵根株容積は約10ℓ、8月25日冷蔵の場合の切り花数は222本であった。



第1図 花芽分化のステージ(昭58)

第1表 冷蔵開始時期が開花期・品質に及ぼす影響(昭60)

区 別		開 花 期				切 り 花 の 品 質				
冷蔵日	出庫日	開 花 盛	開 花 終	花茎長	出葉率	葉 数	葉 長	着輪数		
月 日	月 日	月 日	月 日	cm	%	枚	cm	輪		
7.25	9.19	10.10	11.10	20.1	33	0.5	14.6	8.4		
8.5	9.30	11.1	11.30	22.3	44	0.8	13.0	8.5		
8.15	10.12	11.20	11.30	26.6	52	0.9	16.0	9.0		
8.25	10.20	12.5	12.10	34.1	100	1.1	18.4	9.2		
9.5	10.30	12.21	12.23	31.7	100	1.3	18.2	9.1		

(45cm×30cmのルートマット冷蔵促成)

注) 出葉率~開花茎に対する葉を抽出して開花した茎率

葉 長~出葉開花した固体のみの平均

第2表 冷蔵前の茎葉の状態と促成開花率(昭60)

区 別		冷蔵前の茎葉の状態				促成の開花状況			
冷蔵日	出庫日	3枚葉	2枚葉	若 小	計	3、2枚葉計	開花数	対全芽数	対3、2枚
		芽 数	芽 数	芽 数				開 花 率	数開花率
7.25	9.19	18.0	20.0	29.0	67.0	38.0	9	13.4	23.7
8.5	9.30	22.5	32.5	29.5	84.5	55.0	25	29.6	45.5
8.15	10.12	12.5	27.5	24.0	64.0	40.0	21	32.8	52.5
8.25	10.20	11.5	34.0	28.0	73.5	44.5	31.5	42.9	69.2
9.5	10.30	23.5	19.5	30.5	73.5	43.0	29.5	40.1	68.6

(45cm×30cmルートマット1ブロック当たり)

注) 若小芽とは草丈21cm以下のもの

(担当者 花き部 山中昭雄・※深沢弘子)

※現・小山農業改良普及所